

第4章 PCAP・副専攻プログラム・全学オープン科目

第1節 PCAP・副専攻プログラム・全学オープン科目とは

本学を卒業するためには、文学部・法学部・神道文化学部は共通教育科目36単位と専門教育科目64単位を含め124単位以上、経済学部は共通教育科目36単位と専門教育科目74単位を含め124単位以上、人間開発学部・観光まちづくり学部は共通教育科目26単位と専門教育科目74単位を含め124単位以上を修得することが要件となります。つまり、共通教育科目及び専門教育科目で卒業要件として定められている以外の「24単位（経済学部のみ14単位）」については、学生個人の主体的意欲・創意工夫に基づき、自身で履修計画を立てる必要があります。

24単位（経済学部のみ14単位）の活用例

- 所属学科の「専門教育科目」の中から数科目、「共通教育科目」の中から数科目、「全学オープン科目」の中から数科目といったように、自身の興味・関心に従って自由に組み合わせて履修する。
- 「副専攻プログラム」の指定科目を修得することにより、所属学科の卒業証書とは別に「副専攻修了証」の授与を受ける。
- 自分の所属する学科の「専門教育科目」について、文・法・神道文化学部は64単位、経済・人間開発・観光まちづくり学部は74単位を超えて修得し、その専門性についてより高い水準を目指す。
- 全学の共通教育として開講されている「共通教育科目」について、文・法・経済・神道文化学部は36単位、人間開発・観光まちづくり学部は26単位を超えて修得し、幅広い視野や総合的な判断力を養うことを目指す。
- 各学部・学科が全学に開放している「全学オープン科目」を修得することによって、学際的な視野を身につけることを目指す。

PCAP（全学共通実践的キャリア開発プログラム）

PCAP（Practical Career Advancement Program）は、卒業後の進路目標を明示した、全学共通の実践的なキャリア開発プログラムです。プログラムには2つのコースがあり、どの学部の学生もコース登録することができます。なお、プログラムを構成する科目を履修して修得した単位は、卒業要件単位に算入されます。また、各コースの修了要件を満たすと、卒業時に「全学共通実践的キャリア開発プログラム（PCAP）」の修了証が授与されます。

副専攻プログラム

本学では、学生が専門の枠を超えて自らの知的好奇心と意欲に基づく体系的学修を望む際に、それに応えるため、「副専攻」制度を導入しています。副専攻には、10のプログラムが設定されており、各自がその興味に基づき、自分の所属する学科以外の専門分野についても計画的、体系的に学ぶことが可能となっています（151ページ以降を参照）。副専攻プログラムの特徴は、

- 主に、各学部・学科から提供された専門教育科目を組織化したプログラム
- 学部・学科の専攻コースの枠を超えた学際的プログラム
- 資格や免許取得を目指すための基礎学修的なプログラム

からできているということです。副専攻は、1年次から登録することが可能で、所属学科以外の専門的な教育を受けることが可能になります。各プログラムで設定された単位を修得することで、所属学科の卒業証書に加え「副専攻修了証」が授与されます。プログラムを構成する科目を履修して修得した単位は、卒業要件単位に算入されます。

全学オープン科目

所属学科以外の専門教育科目を履修したい場合は、各学部・学科が全学に開放している「全学オープン科目」（161ページ以降を参照）から、自身の興味・関心に基づき自由に履修することが可能です。履修して修得した単位は、卒業要件単位に算入されます。

なお、全学オープン科目であっても、所属する学科の専門教育科目として開講されている科目や他学部・学科の学生が履修できない科目もありますので、履修登録にあたっては、『WEB時間割』を確認してください。

第2節 PCAP（全学共通実践的キャリア開発プログラム）

1. パブリックサービスキャリア・コース<24単位>

公務員試験（国家、地方）受験に必要な法律学や行政学などを体系的に学ぶことを目的とします。また、試験対策指導も実施されるコースです。原則として、1年次にコース登録します。

PCAP共通基礎科目

区分	授業科目	開講	単位	学年	履修方法	備考
共通教育科目	論理・推理・解釈	半期	2	2・3	2単位必修	「数的推論Ⅱ」を修得していることが望ましい
	基礎法律学Ⅰ ^{※1}	半期	2	1・2		
経済学部専門教育科目 又は共通教育科目	経済理論入門	半期	2	1	基礎法律学Ⅰ 4単位を含め 8単位以上	
	統計入門	半期	2	1		
専門教育科目 ^{※2} 又は全学オープン科目	財政の基礎	半期	2	3 ^{※3}		

パブリックサービスキャリア専攻科目

区分	授業科目	開講	単位	学年	履修方法	備考
共通教育科目	基礎法律学Ⅱ ^{※1}	半期	2	2・3		
	応用法律学 ^{※1}	半期	2	2・3		
法学部専門教育科目 又は全学オープン科目	行政組織法	半期	2	3・4	8単位以上	
	地方自治法	半期	2	3・4		
	政治学概論	半期	2	1		
	行政学A	半期	2	2		
	行政学B	半期	2	2		
	公共政策	半期	2	2		
共通教育科目	論述問題演習	半期	2	3・4	2単位必修	複数履修可
	パブリックサービス・インターンシップ	半期	2	2・3		

※1 （ ）内のテーマが異なれば同一の授業科目でも複数履修可

※2 史学科・経済学科・経営学科・法律学科政治専攻の学生は、専門教育科目として履修

※3 史学科・経済学科・法律学科政治専攻での開講学年は2年

3年次以降の履修制限について

パブリックサービスキャリア・コースについては、3年次以降の履修に制限が設けられています。履修を継続するには、以下の①～③の履修条件をすべて満たす必要がありますので、注意してください。

- ① 2年次終了時まで「数的推論Ⅱ」1科目2単位を修得すること（「数的推論Ⅱ」の履修にあたっては、「数的推論Ⅰ」の単位修得が条件となります。）
- ② 2年次終了時まで「基礎法律学Ⅰ」2科目4単位以上を修得すること
- ③ 2年次2月に行う「一般知能・一般知識」の試験で所定の得点を獲得すること

2. グローバルキャリア・コース<24単位>

実業の世界で国際的な仕事に従事できる能力の涵養を中心に、グローバルビジネスの即戦力を育成するコースです。原則として、2年次にコース登録します。なお、登録にあたっては、英語力（TOEICの点数等）及びGPAについて、条件が設けられています。

PCAP共通基礎科目

区分	授業科目	開講	単位	学年	履修方法	備考
共通教育科目	論理・推理・解釈	半期	2	2・3	2単位必修	[数的推論Ⅱ]を修得していることが望ましい
	基礎法律学Ⅰ ^{※1}	半期	2	1・2		
経済学部専門教育科目 又は共通教育科目	経済理論入門	半期	2	1	4単位以上	
	統計入門	半期	2	1		
専門教育科目 ^{※3} 又は全学オープン科目	財政の基礎	半期	2	3 ^{※5}		

グローバルキャリア専攻科目

ADVANCED ENGLISH

区分	授業科目	開講	単位	学年	履修方法	備考
共通教育科目	Qualification English	半期	2	2	2単位必修	
	Business English Writing	半期	2	2	2単位必修	
	Advanced Business English	半期	2	2	2単位必修	

グローバル教養科目

区分	授業科目	開講	単位	学年	履修方法	備考
共通教育科目	Japan Studies	半期	2	2	4単位以上	Area Studies
法学部専門教育科目 又は全学オープン科目	地域研究演習 ^{※2}	半期	2	3・4		
	地域研究 ^{※1}	半期	2	3・4		
	環境政治学	半期	2	3・4		
	平和研究	半期	2	3・4		
						International Politics

グローバルキャリア科目

区分	授業科目	開講	単位	学年	履修方法	備考	
共通教育科目	基礎法律学Ⅱ ^{※1}	半期	2	2・3	8単位以上	International Economics	
	Economics of Globalization I	半期	2	2・3			
	Economics of Globalization II	半期	2	2・3			
専門教育科目 又は全学オープン科目	国際経済 ^{※6}	半期	2	3 ^{※7}			International Finance
	国際通貨と国際金融 ^{※3}	半期	2	3			
	国際会計 ^{※3}	半期	2	3			

グローバルインターンシップ&セミナー

区分	授業科目	開講	単位	学年	履修方法	備考
共通教育科目	グローバルインターンシップ&セミナー	半期	2	2・3		

- ※1 ()内のテーマが異なれば同一の授業科目でも複数履修可
- ※2 ()内のテーマが異なれば同一の授業科目でも4単位まで複数履修可
- ※3 履修に際しては、単位修得が条件となる科目があるため、詳細については167ページを参照
- ※4 史学科・経済学科・経営学科・法律学科政治専攻の学生は、専門教育科目として履修
- ※5 史学科・経済学科・法律学科政治専攻での開講学年は2年
- ※6 経済学部・法学部の学生は、専門教育科目として履修
- ※7 経済学科・法学部での開講学年は2年

第3節 副専攻プログラム

1. 日本語教育（日本語教員養成課程）＜26単位＞

日本語教育に関する知識を、言語、教育、社会・文化・地域に関わる領域から体系的に学ぶことにより、多様な日本語教育の現場に対応した教師としての資質を磨きます。修了証は日本語教育機関の教員の条件の1つに相当するので、これらの知識は、異文化共生時代を迎えた日本、及び国際交流の進む海外における活動の選択肢を拡げることに役立つでしょう。

國學院大學の副専攻「日本語教育（日本語教員養成課程）」は、法務省が平成28年7月22日に公示、平成29年8月1日から施行した「日本語教育機関の告示基準」によって定められた法務省告示校に勤める教員の要件のうち、「大学又は大学院において日本語教育に関する科目の単位を26単位以上修得し、かつ、当該大学を卒業し又は当該大学院の課程を修了した者」に該当し、修了証には、「本課程は、日本語教育機関の告示基準（法務省入国管理局平成28年7月22日策定）第1条第1項第13号ロで求められた日本語教育に関する科目26単位以上を修得する教育課程であることを証します。」と明記してきました。

その後、令和5年5月26日に成立し、令和6年4月1日から施行の「日本語教育の適正かつ確実な実施を図るための日本語教育機関の認定等に関する法律」に基づく文部科学省の省令により、令和6年4月1日から新たに国家資格としての「登録日本語教員」が設けられることになりました。これに伴い、原則として法施行後5年（令和11年3月31日）までの経過措置期間が設けられましたが、現行の日本語教員養成課程を実施する大学等が登録実践機関と登録日本語教員養成機関の登録を受ける前に在籍する学生等への配慮として、5年の経過措置期間が終了した直後の令和11年4月1日より、登録機関としての実践研修・養成機関が開始された場合を想定し、それ以前から在籍した学生等が経過措置を受けられるよう、大学の修業年限が4年であることを踏まえて、原則である5年に4年を加え、日本語教師の養成段階に求められる「必修の教育内容50項目」に対応した課程の修了者への経過措置の期間を令和15年3月31日までとされました。これにより、國學院大學の副専攻「日本語教育（日本語教員養成課程）」も必須の教育内容50項目に対応する下記の科目を必修科目・選択必修科目として指定します。

これらを履修するとともに、選択科目を履修して併せて26単位以上を修得することによって日本語教育の基礎から専門知識まで発展的に学修することができます。

新基準		科目 区分	科目 供出	授業科目名	開講	単位	1年	2年	3年	4年	修了 要件
領域	区分										
社会・文化・地域に関わる領域	社会・文化・地域	必修	共通	國學院の学び（日本語教育の歴史）	半期	2		○			2単位
	言語と社会	必修	日文	言語学概論Ⅰ ^{※2}	半期	2		○			4単位
			日文	言語学概論Ⅱ ^{※2}	半期	2		○			
		選択必修	日文	現代日本語研究Ⅰ	半期	2			○		※4
			日文	現代日本語研究Ⅱ	半期	2			○		
			日文	日本語学各論Ⅰ	半期	2			○		
			日文	日本語学各論Ⅱ	半期	2			○		
	言語と心理	選択必修	哲	言語論A	半期	2			○	※4	
			哲	言語論B	半期	2			○		
	教育に関わる領域		選択必修	日文	日本語教育実習Ⅰ ^{※1}	集中	1			○	1単位以上
日文	日本語教育実習Ⅱ ^{※1}			集中	2			○			
言語に関わる領域	言語と教育	必修	日文	日本語教授法Ⅰ	半期	2		○		4単位	
日文			日本語教授法Ⅱ	半期	2		○				
選択必修		日文	日本語教育研究Ⅰ	半期	2			○	4単位以上		
		日文	日本語教育研究Ⅱ	半期	2			○			
		日文	日本語教育学演習ⅠA ^{※2}	半期	2			○			
		日文	日本語教育学演習ⅠB ^{※2}	半期	2			○			
日文	日本語教育学演習ⅡA ^{※2}	半期	2			○					
日文	日本語教育学演習ⅡB ^{※2}	半期	2			○					

新基準		科目 区分	科目 供出	授業科目名	開講	単位	1年	2年	3年	4年	修了 要件	
領域	区分											
社会・文化・地域 に関わる 領域	言語	選択 必修	中文	日本語学概論Ⅰ※ ³	半期	2	○				4単位 以上	
			中文	日本語学概論Ⅱ※ ³	半期	2	○					
			外文	日本語学Ⅰ	半期	2				○		
			外文	日本語学Ⅱ	半期	2				○		
	教育に関 わる領域	言語	選択 必修	日文	日本語史Ⅰ	半期	2		○			※4
				日文	日本語史Ⅱ	半期	2		○			
				日文	日本語学史Ⅰ	半期	2				○	
				日文	日本語学史Ⅱ	半期	2				○	
				日文	日本語音声学Ⅰ	半期	2				○	
				日文	日本語音声学Ⅱ	半期	2				○	
言語に関 わる領域	言語	選択 必修	日文	現代日本語文法Ⅰ	半期	2		○		※4		
			日文	現代日本語文法Ⅱ	半期	2		○				
合計											26単位 以上	

○で示す開講学年で履修することが望ましい。ただし、履修学年に制限がない限り、当該学年以降でも履修することができる。

- ※1 「日本語教育実習Ⅰ・Ⅱ」については、「登録研修機関」において実施する。履修するためには必須の50項目のうち○で囲んだ数字の37項目を学修する必修科目・選択必修科目あわせて7科目14単位を修得すること。
- ※2 「言語学概論Ⅰ・Ⅱ」、及び「日本語教育学演習ⅠA・ⅠB」「日本語教育学演習ⅡA・ⅡB」の組み合わせは、原則として同一教員の授業を同一の年度内に履修することとする。
- ※3 日本文学科及び初等教育学科の学生は、「日本語学概論Ⅰ・Ⅱ」を履修することができないため、専門教育科目「日本語学概論Ⅰ・Ⅱ」の単位を修得することによって、この「4単位以上」の部分に充当することができる。
- ※4 これらの選択必修科目の中から計6単位以上を修得すること。

50項目と開講科目との対応

「日本語教育人材の養成・研修の在り方について（報告）改定版」（平成31年3月4日）で示された「日本語教師の養成段階に求められる「必須の教育内容」50項目」を副専攻「日本語教育（日本語教員養成課程）」における必修科目を履修することによって習得することができる。以下に50項目と必修科目・選択必修科目との対応を示す。さらに選択必修科目を履修して26単位以上を取得することによって体系的に日本語教員としての質を確保することができる。必須の50項目は複数の科目に互ることがある。○で囲んだ数字は、コアカリキュラムで示された実践研修前に学修する必要があるとされる37項目を表す。

【必修科目】

- (1)「国学院の学び（日本語教育の歴史）」
 - ②日本の在留外国人施策 ④日本語教育史 ⑤言語政策 ⑨言語政策と「ことば」
 - ⑱ 異文化受容・適応 ⑲ 教授法 ⑳ 日本語教育とICT
- (2)「言語学概論Ⅰ・Ⅱ」
 - ③多文化共生（Ⅰ） ⑧社会言語学（Ⅱ） ⑫言語・非言語行動（Ⅱ） ⑬多文化・多言語主義（Ⅱ）
 - ⑭談話理解（ⅠorⅡ） ⑯習得過程（第一言語・第二言語）（ⅠorⅡ）
 - ⑳中間言語分析（ⅠorⅡ） ㉑異文化間教育（Ⅱ） ㉒異文化間コミュニケーション（Ⅱ）
 - 37一般言語学 38対照言語学 40日本語教育のための音韻・音声体系（Ⅰ）
 - ④②日本語教育のための形態・語彙体系（Ⅰ） ④③日本語教育のための文法体系（Ⅰ）
 - ④④日本語教育のための意味体系 ④⑤日本語教育のための語用論的規範（Ⅱ） ④⑥受容・理解能力（Ⅱ）
 - ④⑦言語運用能力（Ⅱ） ④⑧社会文化能力（Ⅱ） ④⑨対人関係能力（Ⅱ） ④⑩異文化調整能力（Ⅱ）
- (3)「日本語教育実習」
 - 28教育実習、
- (4)「日本語教授法Ⅰ・Ⅱ」
 - 6日本語の試験（Ⅰ） 7世界と日本の日本語事情 10コミュニケーションストラテジー（ⅠorⅡ）
 - ⑮言語学習 ⑰学習ストラテジー（Ⅰ） ⑲日本語の学習・教育の情意的側面（Ⅰ）
 - ⑳日本語教師の資質・能力（Ⅰ） ㉒教室・言語環境の設定（Ⅰ） ㉓コースデザイン（ⅠorⅡ）
 - ㉔教授法 ㉕教材分析・作成・開発 ㉖評価法（Ⅰ） ㉗授業計画（Ⅱ） ㉘授業分析・自己点検能力（Ⅱ）
 - ㉙目的・対象別日本語教育法（Ⅰ） ㉚コミュニケーション教育（ⅠorⅡ） ㉛著作権（Ⅱ）

【選択必修】

(5)「日本語教育研究Ⅰ・Ⅱ」

(6)「日本語教育学演習ⅠA・ⅠB」

(7)「日本語教育学演習ⅡA・ⅡB」

1世界と日本の社会と文化 11待遇・敬意表現 ⑮言語学習 ⑳日本語教育のプログラムの理解と実践
23コースデザイン 24教授法 25教材分析・作成・開発 27授業計画 37一般言語学 38対照言語学
⑳日本語教育のための日本語分析 ㉑日本語教育のための音韻・音声体系
㉒日本語教育のための文字と表記 ㉓日本語教育のための形態・語彙体系
㉔日本語教育のための文法体系 ㉕日本語教育のための意味体系

2. 民俗と文化（日本文学科の学生は登録不可）＜16単位＞

「民俗」とは、民間の風俗、習慣、伝承などの総体です。儀礼や舞踊なども含まれます。つまり、日本の民衆が、古来、生活のなかで繰り返し実践してきたことをまとめて、客観的・体系的に学ぶのがこのプログラムです。

科目区分	科目供出	授業科目名	開講	単位	1年	2年	3年	4年	修了要件
選択必修 科目	日文	民俗学史Ⅰ	半期	2		○			16単位以上
	日文	民俗学史Ⅱ	半期	2		○			
	日文	伝承文学史Ⅰ	半期	2			○		
	日文	伝承文学史Ⅱ	半期	2			○		
	日文	日本民俗学Ⅰ	半期	2			○		
	日文	日本民俗学Ⅱ	半期	2			○		
	日文	口承文芸研究Ⅰ	半期	2			○		
	日文	口承文芸研究Ⅱ	半期	2			○		
	日文	儀礼文化論Ⅰ	半期	2			○		
	日文	儀礼文化論Ⅱ	半期	2			○		
	日文	伝承文学思想	半期	2				○	
	日文	民俗研究思想	半期	2				○	
合計									16単位以上

○で示す開講学年で履修することが望ましい。ただし、履修学年に制限がない限り、当該学年以降でも履修することができる。

3. 日本の歴史を知る（史学科の学生は登録不可）＜16単位＞

私たちの国、日本の歴史について、その全体像、区分された時代、政治・美術・思想といった各分野の歴史を体系的に学びます。現代につながる生きた歴史を知ることは、私たち自身を知るためのもっともよい方法です。外国の人に日本を説明する基礎知識になります。

科目区分	科目供出	授業科目名	開講	単位	1年	2年	3年	4年	修了要件
選択必修 科目	史	日本史概論Ⅰ	半期	2	○				4単位以上
	史	日本史概論Ⅱ	半期	2	○				
	史	考古学概論Ⅰ	半期	2	○				
	史	考古学概論Ⅱ	半期	2	○				
選択科目	史	日本時代史Ⅰ	半期	2	○				16単位以上
	史	日本時代史Ⅱ	半期	2	○				
	史	日本時代史Ⅲ	半期	2	○				
	史	日本時代史Ⅳ	半期	2	○				
	史	日本時代史Ⅴ	半期	2	○				
	史	日本時代史Ⅵ	半期	2	○				
	史	日本時代史Ⅶ	半期	2	○				
	史	日本時代史Ⅷ	半期	2	○				
	史	有職故実Ⅰ	半期	2		○			
	史	有職故実Ⅱ	半期	2		○			
	史	日本文化史Ⅰ	半期	2		○			
	史	日本文化史Ⅱ	半期	2		○			
合計									16単位以上

○で示す開講学年で履修することが望ましい。ただし、履修学年に制限がない限り、当該学年以降でも履修することができる。

4. 政治と法の基礎（比較研究）（法学部の学生は登録不可）＜16単位＞

このプログラムでは、法や政治の現状、及びそれぞれが社会において果たす機能を国際的な比較の観点から把握し、分析することの基本を学びます。そうすることによって、法や政治における普遍的なものを理解することができ、そこから、日本におけるそれらの特徴をよりよく理解できるようになるでしょう。

科目区分	科目供出	授業科目名	開講	単位	1年	2年	3年	4年	修了要件
選択必修科目	共通	法学（日本国憲法）	半期	2			○		16単位以上
	専門教養	国際政治入門	半期	2	○				
	専門教養	比較政治入門	半期	2	○				
	専門教養	地域研究入門	半期	2	○				
	専門教養	比較法入門	半期	2	○				
	法	政治学概論	半期	2	○				
	法	国際政治A	半期	2		○			
	法	国際政治B	半期	2		○			
	法	日本の政治A	半期	2		○			
	法	日本の政治B	半期	2		○			
	法	外国法A	半期	2				○	
	法	外国法B	半期	2				○	
	法	比較政治A	半期	2				○	
	法	比較政治B	半期	2				○	
法	地域研究	半期	2				○		
合計									16単位以上

○で示す開講学年で履修することが望ましい。ただし、履修学年に制限がない限り、当該学年以降でも履修することができる。

5. 政治と法の基礎（歴史研究）（法学部の学生は登録不可）＜16単位＞

このプログラムでは、法や政治のあり方、及びそれぞれが社会において果たす機能を歴史的な比較の観点から把握し、分析することの基本を学びます。現代の法や政治がどのような歴史的背景をもって形成されてきたのかを知り、また、それらがどうあるべきだと考えられてきたかを知ることを通じて、それらのありようをよりよく理解できるようになるでしょう。

科目区分	科目供出	授業科目名	開講	単位	1年	2年	3年	4年	修了要件
選択必修科目	専門教養	法史学入門	半期	2	○				16単位以上
	法	日本政治史A	半期	2	○				
	法	日本政治史B	半期	2	○				
	法	西洋政治史A	半期	2	○				
	法	西洋政治史B	半期	2	○				
	法	国際関係史A	半期	2	○				
	法	国際関係史B	半期	2	○				
	法	日本政治思想史A	半期	2		○			
	法	日本政治思想史B	半期	2		○			
	法	西洋政治思想史A	半期	2		○			
	法	西洋政治思想史B	半期	2		○			
	法	アジア政治史A	半期	2		○			
	法	アジア政治史B	半期	2		○			
	法	法制史A	半期	2				○	
法	法制史B	半期	2				○		
合計									16単位以上

○で示す開講学年で履修することが望ましい。ただし、履修学年に制限がない限り、当該学年以降でも履修することができる。

6. 経済学の基礎^{※1・2}（経済学部の学生は登録不可）＜16単位＞

経済学の基本的な分野について体系的に学びます。「マクロ経済学」「ミクロ経済学」を基本に、財政や金融、地域・都市経済、日本経済、国際経済などに加え、統計を用いた分析手法なども学んでいきます。経済学を用いて現代社会を分析する視野を身につけます。なお、共通教育プログラムの専門教養科目群で「経済学」のパッケージを修得するとよいでしょう。

科目区分	科目供出	授業科目名	開講	単位	1年	2年	3年	4年	修了要件
選択必修科目	経済	マクロ経済Ⅰ ^{◆1}	半期	2		○			4単位以上
	経済	ミクロ経済Ⅰ ^{◆1}	半期	2		○			
	経済	財政の基礎	半期	2			○		
	経済	金融の基礎	半期	2			○		
選択科目	経済	マクロ経済Ⅱ ^{◇1}	半期	2		○			
	経済	ミクロ経済Ⅱ ^{◇1}	半期	2		○			
	経済	ビジネスリサーチ ^{◇2}	半期	2		○			
	経済	現代日本経済	半期	2			○		
	経済	国際経済 ^{◆2}	半期	2			○		
	経済	労働経済 ^{◇3}	半期	2			○		
	経済	社会経済学	半期	2			○		
経済	地域と都市の経済 ^{◇1}	半期	2			○			
合計									16単位以上

○で示す開講学年で履修することが望ましい。ただし、履修学年に制限がない限り、当該学年以降でも履修することができる。

※1 経済学は積み上げ型の学問です。◇のついている授業科目の履修に際しては、単位修得が条件となる科目がありますので、以下の表で確認してください。

記号	単位修得が履修条件となる科目	記号	単位修得が履修条件となる科目	記号	単位修得が履修条件となる科目
◇1	経済理論入門（専門教養）	◇2	経済経営数学入門（専門教養）	◇3	現代日本経済

※2 ◆のついている授業科目の履修に際しては、事前に単位修得が望まれる科目がありますので、以下の表で確認してください。

記号	事前に単位修得が望まれる科目	記号	事前に単位修得が望まれる科目
◆1	経済理論入門（専門教養）	◆2	世界経済入門（専門教養）

7. 経営学の基礎^{※1・2}（経済学部の学生は登録不可） <16単位>

経営学の基本的な分野について体系的に学びます。ヒト・モノ・カネといった経営資源の管理、経営の戦略と組織、マーケティングなど経営学の基礎的用語、理論、フレームワークについて、統計手法や会計スキル、事例や歴史を踏まえて理解し、現実の企業行動を分析できる視座を身につけます。なお、共通教育プログラムの専門教養科目群で「経営学」のパッケージを修得するとよいでしょう。

科目区分	所属	授業科目名	開講	単位	1年	2年	3年	4年	修了要件
選択必修科目	経済	経営戦略 ^{◇1}	半期	2			○		4単位以上
	経済	経営組織 ^{◇1}	半期	2			○		
	経済	マーケティングの基礎 ^{◇1}	半期	2			○		
	経済	財務会計 ^{◇2}	半期	2			○		
選択科目	経済	ビジネスリサーチ ^{◇3}	半期	2		○			
	経済	現代ビジネス ^{◇1}	半期	2			○		
	経済	企業財務 ^{◇1}	半期	2			○		
	経済	国際経営 ^{◇1}	半期	2			○		
	経済	経営史 ^{◆1}	半期	2			○		
	経済	予算管理 ^{◇2}	半期	2			○		
	経済	原価計算 ^{◇2}	半期	2			○		
合計									16単位以上

○で示す開講学年で履修することが望ましい。ただし、履修学年に制限がない限り、当該学年以降でも履修することができる。

※1 ◇のついている授業科目の履修に際しては、単位修得が条件となる科目がありますので、以下の表で確認してください。

記号	単位修得が履修条件となる科目	記号	単位修得が履修条件となる科目	記号	単位修得が履修条件となる科目
◇1	経営入門(専門教養)	◇2	会計入門(専門教養)	◇3	経済経営数学入門(専門教養)

※2 ◆のついている授業科目の履修に際しては、事前に単位修得が望まれる科目がありますので、以下の表で確認してください。

記号	事前に単位修得が望まれる科目
◆1	経営入門(専門教養)

8. 神道文化を学ぶ（神道文化学部の学生は登録不可）＜16単位＞

神道は日本文化の多様性や寛容性を理解するための重要な鍵です。このプログラムでは神道の歴史や思想に関する基幹的な科目を学んで基礎的な知識を習得し、さらに古典・芸能などにみられる神道の影響を学ぶことにより、幅広い日本の神道文化の諸相を理解することができます。

科目区分	科目供出	授業科目名	開講	単位	1年	2年	3年	4年	修了要件
選択必修 科目Ⅰ	神文	神道史学ⅠA	半期	2	○				8単位以上
	神文	神道史学ⅠB	半期	2	○				
	神文	古典講読ⅠA	半期	2	○				
	神文	古典講読ⅠB	半期	2	○				
	神文	神道史学ⅡA	半期	2		○			
	神文	神道史学ⅡB	半期	2		○			
	神文	神道思想史学Ⅰ	半期	2		○			
	神文	神道思想史学Ⅱ	半期	2		○			
	神文	国学概論Ⅰ	半期	2		○			
	神文	国学概論Ⅱ	半期	2		○			
	神文	祭祀学Ⅰ	半期	2			○		
	神文	祭祀学Ⅱ	半期	2			○		
選択必修 科目Ⅱ	神文	日本宗教文化論Ⅰ	半期	2	○				8単位以上
	神文	日本宗教文化論Ⅱ	半期	2	○				
	神文	宗教考古学Ⅰ	半期	2		○			
	神文	宗教考古学Ⅱ	半期	2		○			
	神文	比較文化学Ⅰ	半期	2		○			
	神文	比較文化学Ⅱ	半期	2		○			
	神文	仏教文化研究Ⅰ	半期	2		○			
	神文	仏教文化研究Ⅱ	半期	2		○			
	神文	神道と環境Ⅰ	半期	2		○			
	神文	神道と環境Ⅱ	半期	2		○			
	神文	教派神道研究Ⅰ	半期	2			○		
	神文	教派神道研究Ⅱ	半期	2			○		
	神文	宗教芸術研究Ⅰ	半期	2			○		
	神文	宗教芸術研究Ⅱ	半期	2			○		
合計									16単位以上

○で示す開講学年で履修することが望ましい。ただし、履修学年に制限がない限り、当該学年以降でも履修することができる。

9. 宗教文化（神道文化学部の学生は登録不可）＜16単位＞

このプログラムは大きく2つの選択必修科目群に区分されています。1つめは、宗教についての概念や研究方法などの基本的な要素について理解するための科目であり、2つめはさまざまな宗教文化の歴史的展開や、現代社会のなかでの意味を学ぶための科目です。両方の科目群をバランスよく学びながら、国際化・情報化が進む現代社会で相互理解を深めつつ活躍できる力を養います。

科目区分	科目供出	授業科目名	開講	単位	1年	2年	3年	4年	修了要件
選択必修 科目Ⅰ	神文	宗教学Ⅰ	半期	2	○				4単位以上
	神文	宗教学Ⅱ	半期	2	○				
	神文	世界宗教文化論Ⅰ	半期	2	○				
	神文	世界宗教文化論Ⅱ	半期	2	○				
	神文	日本宗教文化論Ⅰ	半期	2	○				
	神文	日本宗教文化論Ⅱ	半期	2	○				
	神文	宗教社会学Ⅰ	半期	2		○			
	神文	宗教社会学Ⅱ	半期	2		○			
選択必修 科目Ⅱ	神文	比較文化学Ⅰ	半期	2		○			4単位以上
	神文	比較文化学Ⅱ	半期	2		○			
	神文	キリスト教文化研究Ⅰ	半期	2		○			
	神文	キリスト教文化研究Ⅱ	半期	2		○			
	神文	仏教文化研究Ⅰ	半期	2		○			
	神文	仏教文化研究Ⅱ	半期	2		○			
	神文	神道と国際交流Ⅰ	半期	2			○		
	神文	神道と国際交流Ⅱ	半期	2			○		
	神文	中東文化研究Ⅰ	半期	2			○		
	神文	中東文化研究Ⅱ	半期	2			○		
	神文	東アジア文化研究Ⅰ	半期	2			○		
	神文	東アジア文化研究Ⅱ	半期	2			○		
	神文	神道と情報化社会Ⅰ	半期	2			○		
	神文	神道と情報化社会Ⅱ	半期	2			○		
	神文	教派神道研究Ⅰ	半期	2			○		
	神文	教派神道研究Ⅱ	半期	2			○		
合計									16単位以上

○で示す開講学年で履修することが望ましい。ただし、履修学年に制限がない限り、当該学年以降でも履修することができる。

※ 本プログラム修了者は、日本宗教学会・「宗教と社会」学会と連携して運営される宗教文化教育推進センターによる「宗教文化士」資格の単位認定科目を満たします。詳細は、本学ホームページを確認してください。

10. 古典教育研究^{※1・5} <16単位>

本学が全学規模のスローガンとして掲げる「教職の國學院」に基づき、本学の学統の強靱さを背景に「古典教育のプロフェッショナル」を養成するためのプログラムです。一般的な国語科教員免許の取得にとどまらず、「古典研究の國學院」という伝統・学統を継承、発展させる能力を修得し、古典研究の専門性を活かした教育のできる教員の養成を目的としています。

科目区分	科目供出	授業科目名	開講	単位	1年	2年	3年	4年	修了要件	
									日本文学科	中国文学科
必修 科目Ⅰ	日文	古典教育研究Ⅰ	半期	2			○		4単位	4単位
	日文	古典教育研究Ⅱ	半期	2			○			
必修 科目Ⅱ ^{※2}	日文	基礎漢文学	半期	2	○				2単位	履修不可
選択必修 科目Ⅰ	専門教養 ^{※4}	日本上代文学研究Ⅰ	半期	2		○			4単位以上	4単位以上
	専門教養 ^{※4}	日本上代文学研究Ⅱ	半期	2		○				
	専門教養 ^{※4}	日本中古文学研究Ⅰ	半期	2		○				
	日文	日本中古文学研究Ⅱ	半期	2		○				
	日文	日本中世文学研究Ⅰ	半期	2				○		
	日文	日本中世文学研究Ⅱ	半期	2				○		
	日文	日本近世文学研究Ⅰ	半期	2				○		
	日文	日本近世文学研究Ⅱ	半期	2				○		
選択必修 科目Ⅱ	中文	中国古典読法基礎	半期	2	○				6単位以上	4単位以上
	中文	中国文学と感性Ⅰ	半期	2			○			
	中文	中国文学と感性Ⅱ	半期	2			○			
	中文	中国文学と感性Ⅲ	半期	2			○			
	中文	中国文学と表現Ⅱ	半期	2			○			
	中文	中国文学と表現Ⅲ	半期	2			○			
	中文	中国文学と時代Ⅰ	半期	2			○			
	中文	中国文学と時代Ⅱ	半期	2			○			
	日文	基礎日本古典語Ⅰ ^{※3}	半期	2	○				2単位以上	
	日文	基礎日本古典語Ⅱ ^{※3}	半期	2	○					
選択科目	日文	日本語学史Ⅰ	半期	2			○			
	日文	日本語学史Ⅱ	半期	2			○			
	日文	古代日本語文法Ⅰ	半期	2			○			
	日文	古代日本語文法Ⅱ	半期	2			○			
合計									16単位以上	

○で示す開講学年で履修することが望ましい。ただし、履修学年に制限がない限り、当該学年以降でも履修することができる。

※1 日本文学科以外の学生が取得しようとする場合は、中国文学科の履修条件に準じます。

※2 中国文学科の学生は、「基礎漢文学」を修得する必要がありません。

※3 日本文学科の学生は、「基礎日本古典語Ⅰ」「基礎日本古典語Ⅱ」は選択科目です。

※4 日本文学科の学生は専門科目、日本文学科以外の文学部の学生は、全学オープン科目として算入されます。

※5 副専攻プログラムとしての履修登録時期は3年次以降です。

第4節 全学オープン科目

日本文学科開講科目

すべての学生が履修可能な科目一覧

授業科目	開講	単位	学年
基礎日本古典語Ⅰ	半期	2	1・2
基礎日本古典語Ⅱ	半期	2	1・2
日本語教育学演習ⅠA ^{※3}	半期	2	3・4
日本語教育学演習ⅠB ^{※3}	半期	2	3・4
日本語教育学演習ⅡA ^{※3}	半期	2	3・4
日本語教育学演習ⅡB ^{※3}	半期	2	3・4
日本文学史Ⅰ	半期	2	2
日本文学史Ⅱ	半期	2	2
日本上代文学研究Ⅰ ^{※1}	半期	2	2
日本上代文学研究Ⅱ ^{※1}	半期	2	2
日本中古文学研究Ⅰ ^{※1}	半期	2	2
日本中古文学研究Ⅱ	半期	2	2
日本中世文学研究Ⅰ	半期	2	3・4
日本中世文学研究Ⅱ	半期	2	3・4
日本近世文学研究Ⅰ	半期	2	3・4
日本近世文学研究Ⅱ	半期	2	3・4
日本語史Ⅰ	半期	2	2
日本語史Ⅱ	半期	2	2
日本語学史Ⅰ	半期	2	3
日本語学史Ⅱ	半期	2	3
言語学概論Ⅰ	半期	2	2
言語学概論Ⅱ	半期	2	2
日本語音声学Ⅰ	半期	2	3
日本語音声学Ⅱ	半期	2	3
古代日本語文法Ⅰ	半期	2	3
古代日本語文法Ⅱ	半期	2	3
現代日本語文法Ⅰ	半期	2	2
現代日本語文法Ⅱ	半期	2	2
現代日本語研究Ⅰ	半期	2	3
現代日本語研究Ⅱ	半期	2	3
日本語学各論Ⅰ	半期	2	3
日本語学各論Ⅱ	半期	2	3
日本語教授法Ⅰ	半期	2	2
日本語教授法Ⅱ	半期	2	2
日本語教育研究Ⅰ	半期	2	3

授業科目	開講	単位	学年
日本語教育研究Ⅱ	半期	2	3
日本語教育実習Ⅰ	集中	1	3
日本語教育実習Ⅱ	集中	2	3
民俗学史Ⅰ	半期	2	2
民俗学史Ⅱ	半期	2	2
伝承文学史Ⅰ	半期	2	3
伝承文学史Ⅱ	半期	2	3
日本民俗学Ⅰ	半期	2	3
日本民俗学Ⅱ	半期	2	3
口承文芸研究Ⅰ	半期	2	3
口承文芸研究Ⅱ	半期	2	3
儀礼文化論Ⅰ	半期	2	3
儀礼文化論Ⅱ	半期	2	3
伝承文学研究Ⅰ	半期	2	2
伝承文化研究Ⅰ	半期	2	2
伝承文学思想	半期	2	3・4
民俗研究思想	半期	2	3・4
日本書道史Ⅰ ^{※2}	半期	2	3
日本書道史Ⅱ ^{※2}	半期	2	3
中国書道史Ⅰ ^{※2}	半期	2	2
中国書道史Ⅱ ^{※2}	半期	2	2
書道概論 ^{※2}	半期	2	1
書論研究 ^{※2}	半期	2	3
古筆学 ^{※2}	半期	2	3
篆書法篆刻学 ^{※2}	半期	2	3
隸書法 ^{※2}	半期	2	3
出版文化論Ⅰ	半期	2	3
出版文化論Ⅱ	半期	2	3
放送文化論Ⅰ	半期	2	3
放送文化論Ⅱ	半期	2	3
古典教育研究Ⅰ	半期	2	3
古典教育研究Ⅱ	半期	2	3

※1 文学部以外の学生は、共通教育プログラムの専門教養科目として履修可

※2 文学部及び神道文化学部の学生のみ履修可

※3 「日本語教育学演習Ⅰ・Ⅱ」のA・Bの組み合わせは、原則として同一教員の授業を同年度内に履修すること。

全学オープン

中国文学科開講科目

すべての学生が履修可能な科目一覧

授業科目	開講	単位	学年
中国古典読法基礎 ^{※1}	半期	2	1
中国古典の世界 ^{※2}	半期	2	1
中国「君子」の世界 ^{※2}	半期	2	1
中国文化の世界 ^{※2}	半期	2	1
現代中国の世界 ^{※2}	半期	2	1
中国文学と感性Ⅰ ^{※1}	半期	2	2～4
中国文学と感性Ⅱ ^{※1}	半期	2	2～4
中国文学と感性Ⅲ	半期	2	2～4
中国文学と表現Ⅰ	半期	2	2～4
中国文学と表現Ⅱ ^{※1}	半期	2	2～4
中国文学と表現Ⅲ ^{※1}	半期	2	2～4
中国文学と時代Ⅰ ^{※1}	半期	2	2～4
中国文学と時代Ⅱ ^{※1}	半期	2	2～4
中国文学と時代Ⅲ ^{※1}	半期	2	2～4
中国思想と学術Ⅰ	半期	2	2～4
中国思想と学術Ⅱ	半期	2	2～4
中国思想と学術Ⅲ	半期	2	2～4
中国思想と時代Ⅰ	半期	2	2～4
中国思想と時代Ⅱ	半期	2	2～4
中国思想と時代Ⅲ	半期	2	2～4
中国の思想と伝統Ⅰ	半期	2	2～4
中国の思想と伝統Ⅱ	半期	2	2～4

※1 日本文学科の学生は、専門教育科目として履修可

※2 文学部以外の学生は、共通教育プログラムの専門教養科目として履修可

※3 日本文学科・初等教育学科以外の学生のみ履修可

授業科目	開講	単位	学年
中国の思想と伝統Ⅲ	半期	2	2～4
中国古典と民俗文化Ⅰ	半期	2	2～4
中国古典と民俗文化Ⅱ	半期	2	2～4
中国古典と民俗文化Ⅲ	半期	2	2～4
中国民俗文化と心Ⅰ	半期	2	2～4
中国民俗文化と心Ⅱ	半期	2	2～4
中国民俗文化と心Ⅲ	半期	2	2～4
中国民俗文化と形Ⅰ	半期	2	2～4
中国民俗文化と形Ⅱ	半期	2	2～4
中国民俗文化と形Ⅲ	半期	2	2～4
教養中国語Ⅱ	半期	2	2～4
教養中国語Ⅲ	半期	2	2～4
応用中国語Ⅰ	半期	2	2～4
応用中国語Ⅱ	半期	2	2～4
応用中国語Ⅲ	半期	2	2～4
応用中国語Ⅳ	半期	2	2～4
東洋史入門	半期	2	2～4
儒学と国学 ^{※1}	半期	2	2～4
日本文学概論Ⅰ ^{※3}	半期	2	1
日本文学概論Ⅱ ^{※3}	半期	2	1
日本語学概論Ⅰ ^{※3}	半期	2	1
日本語学概論Ⅱ ^{※3}	半期	2	1

Semester留学(中国語圏)認定科目一覧

授業科目	開講	単位	学年
実践中国語Ⅰ	半期	2	2～4
実践中国語Ⅱ	半期	2	2～4
実践中国語Ⅲ	半期	2	2～4
実践中国語Ⅳ	半期	2	2～4
実践中国語Ⅴ	半期	2	2～4

外国語文化学科開講科目

すべての学生が履修可能な科目一覧

授業科目	開講	単位	学年
外国文化入門*	半期	2	1
英語コミュニケーション演習A	半期	2	3・4
英語コミュニケーション演習B	半期	2	3・4
ドイツ語コミュニケーション演習A	半期	2	3・4
ドイツ語コミュニケーション演習B	半期	2	3・4
フランス語コミュニケーション演習A	半期	2	3・4
フランス語コミュニケーション演習B	半期	2	3・4
中国語コミュニケーション演習A	半期	2	3・4
中国語コミュニケーション演習B	半期	2	3・4
英語展開演習A	半期	2	3・4
英語展開演習B	半期	2	3・4
ドイツ語展開演習A	半期	2	3・4
ドイツ語展開演習B	半期	2	3・4
フランス語展開演習A	半期	2	3・4
フランス語展開演習B	半期	2	3・4
中国語展開演習A	半期	2	3・4
中国語展開演習B	半期	2	3・4
英米語概論 I	半期	2	3・4
英米語概論 II	半期	2	3・4
ドイツ語研究 I	半期	2	3・4
ドイツ語研究 II	半期	2	3・4
フランス語研究 I	半期	2	3・4
フランス語研究 II	半期	2	3・4

授業科目	開講	単位	学年
中国語研究 I	半期	2	3・4
中国語研究 II	半期	2	3・4
日本語学 I	半期	2	3・4
日本語学 II	半期	2	3・4
ビジネス英語 I	半期	2	2～4
ビジネス英語 II	半期	2	2～4
英米地域文化論 I	半期	2	2
英米地域文化論 II	半期	2	2
ヨーロッパ地域文化論 I	半期	2	2
ヨーロッパ地域文化論 II	半期	2	2
中国地域文化論 I	半期	2	2
中国地域文化論 II	半期	2	2
外国文学 I (英)	半期	2	3・4
外国文学 II (米)	半期	2	3・4
外国文学 III (独)	半期	2	3・4
外国文学 IV (独)	半期	2	3・4
外国文学 V (仏)	半期	2	3・4
外国文学 VI (仏)	半期	2	3・4
外国文学 VII (中)	半期	2	3・4
外国文学 VIII (中)	半期	2	3・4
情報文化論 I	半期	2	3・4
情報文化論 II	半期	2	3・4

※ 文学部以外の学生は、共通教育プログラムの専門教養科目として履修可

※ () 内のテーマが異なれば、4単位まで履修可

史学科開講科目

すべての学生が履修可能な科目一覧

授業科目	開講	単位	学年
日本史概論Ⅰ	半期	2	1
日本史概論Ⅱ	半期	2	1
東洋史概論Ⅰ	半期	2	1
東洋史概論Ⅱ	半期	2	1
西洋史概論Ⅰ	半期	2	1
西洋史概論Ⅱ	半期	2	1
考古学概論Ⅰ	半期	2	1
考古学概論Ⅱ	半期	2	1
地域文化と景観概論Ⅰ	半期	2	1
地域文化と景観概論Ⅱ	半期	2	1
日本時代史Ⅰ	半期	2	1
日本時代史Ⅱ	半期	2	1
日本時代史Ⅲ	半期	2	1
日本時代史Ⅳ	半期	2	1
日本時代史Ⅴ	半期	2	1
日本時代史Ⅵ	半期	2	1
日本時代史Ⅶ	半期	2	1
日本時代史Ⅷ	半期	2	1
東洋地域史Ⅰ	半期	2	1
東洋地域史Ⅱ	半期	2	1
東洋地域史Ⅲ	半期	2	1
東洋地域史Ⅳ	半期	2	1
西洋地域史Ⅰ	半期	2	1
西洋地域史Ⅱ	半期	2	1
西洋地域史Ⅲ	半期	2	1
西洋地域史Ⅳ	半期	2	1
考古学各論Ⅰ	半期	2	1
考古学各論Ⅱ	半期	2	1

授業科目	開講	単位	学年
考古学各論Ⅲ	半期	2	1
考古学各論Ⅳ	半期	2	1
考古学各論Ⅴ	半期	2	1
考古学各論Ⅵ	半期	2	1
地域文化各論Ⅰ	半期	2	1
地域文化各論Ⅱ	半期	2	1
地域文化各論Ⅲ	半期	2	1
地域文化各論Ⅳ	半期	2	1
文化景観各論Ⅰ	半期	2	1
文化景観各論Ⅱ	半期	2	1
地域からみた日本の歴史Ⅰ*	半期	2	1
地域からみた日本の歴史Ⅱ*	半期	2	1
地域からみた日本の歴史Ⅲ*	半期	2	1
地域からみた日本の歴史Ⅳ*	半期	2	1
東アジア史Ⅰ*	半期	2	1
東アジア史Ⅱ*	半期	2	1
有職故実Ⅰ	半期	2	2
有職故実Ⅱ	半期	2	2
古文書学Ⅰ	半期	2	2
古文書学Ⅱ	半期	2	2
日本文化史Ⅰ	半期	2	2
日本文化史Ⅱ	半期	2	2
文化人類学Ⅰ	半期	2	2
文化人類学Ⅱ	半期	2	2
人文地理学	半期	2	2
自然地理学	半期	2	2
地誌学	半期	2	2

※ 文学部以外の学生は、共通教育プログラムの専門教養科目として履修可

哲学科開講科目

すべての学生が履修可能な科目一覧

授業科目	開講	単位	学年
西洋哲学史ⅠA	半期	2	1
西洋哲学史ⅠB	半期	2	1
倫理学A	半期	2	1・2
倫理学B	半期	2	1・2
論理学A ^{※5}	半期	2	1・2
論理学B ^{※1}	半期	2	1・2
芸術学A ^{※5}	半期	2	1・2
芸術学B	半期	2	1・2
哲学概論A	半期	2	2・3
哲学概論B	半期	2	2・3
美学A ^{※5}	半期	2	2・3
美学B	半期	2	2・3
日本哲学A	半期	2	2・3
日本哲学B	半期	2	2・3
西洋哲学史ⅡA	半期	2	1・2
西洋哲学史ⅡB	半期	2	1・2
日本思想史A	半期	2	1・2
日本思想史B	半期	2	1・2
中国思想史A ^{※6}	半期	2	1・2
中国思想史B ^{※6}	半期	2	1・2
インド思想史A	半期	2	2・3
インド思想史B	半期	2	2・3
日本美術史A ^{※5}	半期	2	1・2
日本美術史B	半期	2	1・2
東洋美術史A	半期	2	1・2
東洋美術史B	半期	2	1・2
西洋美術史A	半期	2	1・2
西洋美術史B	半期	2	1・2
応用倫理学A	半期	2	3

授業科目	開講	単位	学年
応用倫理学B	半期	2	3
科学哲学A	半期	2	2
科学哲学B	半期	2	2
現代哲学A	半期	2	3
現代哲学B	半期	2	3
宗教哲学A	半期	2	3
宗教哲学B	半期	2	3
言語論A	半期	2	3・4
言語論B	半期	2	3・4
比較思想A	半期	2	3・4
比較思想B	半期	2	3・4
キリスト教概論A	半期	2	3
キリスト教概論B	半期	2	3
仏教概論A	半期	2	3
仏教概論B	半期	2	3
比較芸術学A	半期	2	3・4
比較芸術学B	半期	2	3・4
ギリシャ語Ⅰ	半期	2	1・2
ギリシャ語Ⅱ ^{※2}	半期	2	1・2
ギリシャ語Ⅲ ^{※2}	半期	2	2・3
ギリシャ語Ⅳ ^{※2}	半期	2	2・3
ラテン語Ⅰ	半期	2	1・2
ラテン語Ⅱ ^{※3}	半期	2	1・2
ラテン語Ⅲ ^{※3}	半期	2	2・3
ラテン語Ⅳ ^{※3}	半期	2	2・3
サンスクリット語Ⅰ	半期	2	1・2
サンスクリット語Ⅱ ^{※4}	半期	2	1・2
サンスクリット語Ⅲ ^{※4}	半期	2	2・3
サンスクリット語Ⅳ ^{※4}	半期	2	2・3

- ※1 履修にあたって、「論理学A」の単位修得が条件です。
- ※2 履修にあたって、「ギリシャ語Ⅰ」の単位修得が条件です。
- ※3 履修にあたって、「ラテン語Ⅰ」の単位修得が条件です。
- ※4 履修にあたって、「サンスクリット語Ⅰ」の単位修得が条件です。
- ※5 文学部以外の学生は、共通教育プログラムの専門教養科目として履修可
- ※6 中国文学科の学生は履修不可

法学部開講科目

すべての学生が履修可能な科目一覧

授業科目	開講	単位	学年
法教育入門	半期	2	1
行政組織法	半期	2	3・4
地方自治法	半期	2	3・4
刑事政策A	半期	2	3・4
刑事政策B	半期	2	3・4
企業法務	半期	2	3・4
税法A	半期	2	3・4
税法B	半期	2	3・4
経済法A	半期	2	3・4
経済法B	半期	2	3・4
知的財産法A	半期	2	3・4
知的財産法B	半期	2	3・4
不動産登記法	半期	2	3・4
環境法	半期	2	3・4
消費者法	半期	2	3・4
政治学概論	半期	2	1
法哲学A	半期	2	3・4
法哲学B	半期	2	3・4
外国法A	半期	2	3・4
外国法B	半期	2	3・4
法制史A	半期	2	3・4
法制史B	半期	2	3・4
法社会学A	半期	2	3・4
法社会学B	半期	2	3・4
法律学特殊講義Ⅱ ^{※1}	半期	2	3・4
行政学A	半期	2	2
行政学B	半期	2	2
国際政治A	半期	2	2
国際政治B	半期	2	2
日本政治思想史A	半期	2	2
日本政治思想史B	半期	2	2
西洋政治思想史A	半期	2	2

※1 () 内のテーマが異なれば複数履修可

※2 () 内のテーマが異なれば4単位まで複数履修可

授業科目	開講	単位	学年
西洋政治思想史B	半期	2	2
社会学A	半期	2	3・4
社会学B	半期	2	3・4
政治哲学A	半期	2	3・4
政治哲学B	半期	2	3・4
日本政治史A	半期	2	1
日本政治史B	半期	2	1
西洋政治史A	半期	2	1
西洋政治史B	半期	2	1
20世紀の政治A	半期	2	1
20世紀の政治B	半期	2	1
国際関係史A	半期	2	1
国際関係史B	半期	2	1
日本外交史A	半期	2	2
日本外交史B	半期	2	2
アジア政治史A	半期	2	2
アジア政治史B	半期	2	2
日本の政治A	半期	2	2
日本の政治B	半期	2	2
比較政治A	半期	2	3・4
比較政治B	半期	2	3・4
地方自治論A	半期	2	3・4
地方自治論B	半期	2	3・4
地域研究 ^{※1}	半期	2	3・4
法教育演習	半期	2	3・4
政治学特殊講義Ⅱ ^{※1}	半期	2	3・4
公共政策	半期	2	2
平和研究	半期	2	3・4
環境政治学	半期	2	3・4
地域研究演習 ^{※2}	半期	2	3・4
心理学A	半期	2	3・4
心理学B	半期	2	3・4

経済学部開講科目^{※1・2}

すべての学生が履修可能な科目一覧

授業科目	開講	単位	学年
社会科学入門	半期	2	2
マクロ経済Ⅰ ^{◆1}	半期	2	2
マクロ経済Ⅱ ^{◇1}	半期	2	2
ミクロ経済Ⅰ ^{◆1}	半期	2	2
ミクロ経済Ⅱ ^{◇1}	半期	2	2
ビジネスリサーチ ^{◇2}	半期	2	2
財政の基礎	半期	2	3
金融の基礎	半期	2	3
現代日本経済	半期	2	3
国際経済 ^{◆2}	半期	2	3
労働経済 ^{◇3}	半期	2	3
社会経済学	半期	2	3
地域と都市の経済 ^{◇1※5}	半期	2	3 ^{※6}
日本経済史Ⅰ ^{◇4}	半期	2	3
西洋経済史Ⅰ ^{◇4}	半期	2	3
日本経済と政策 ^{◆3}	半期	2	3
社会保障論 ^{◆3}	半期	2	3
ジェンダーと経済	半期	2	3
国際通貨と国際金融 ^{◇5}	半期	2	3
経済学特論 ^{※3}	半期	2	2
経営学特論 ^{※3}	半期	2	2
Business Communication I	半期	2	2
Business Communication II	半期	2	2

授業科目	開講	単位	学年
経営戦略 ^{◇6}	半期	2	3
経営組織 ^{◇6}	半期	2	3
経営学史 ^{◆4※4}	半期	2	3
マーケティングの基礎 ^{◇6}	半期	2	3
流通論 ^{◇10}	半期	2	3
現代ビジネス ^{◇6}	半期	2	3
経営史 ^{◆4}	半期	2	3
国際経営 ^{◇6}	半期	2	3
企業財務 ^{◇6}	半期	2	3
財務会計 ^{◇7}	半期	2	3
予算管理 ^{◇7}	半期	2	3
原価計算 ^{◇7}	半期	2	3
応用財務会計 ^{◇8}	半期	2	3
公会計 ^{◇7}	半期	2	3
国際会計 ^{◇8}	半期	2	3
企業監査 ^{◇7}	半期	2	3
企業法	半期	2	3
情報システム ^{◇9}	半期	2	3
データ処理 ^{◇9}	半期	2	3
データ管理 ^{◇9}	半期	2	3
プログラミング ^{◇9}	半期	2	3
雇用と働き方	半期	2	2

※1 ◇のついている授業科目の履修に際しては、単位修得が履修条件となる科目がありますので、以下の表で確認してください。

記号	単位修得が履修条件となる科目	記号	単位修得が履修条件となる科目	記号	単位修得が履修条件となる科目
◇1	経済理論入門（専門教養）	◇2	経済経営数学入門（専門教養）	◇3	現代日本経済
◇4	経済史入門（専門教養）	◇5	金融の基礎	◇6	経営入門（専門教養）
◇7	会計入門（専門教養）	◇8	財務会計	◇9	コンピュータと情報Ⅰ（共通教育）
◇10	マーケティングの基礎				

※2 ◆のついている授業科目の履修に際しては、事前に単位修得が望まれる科目がありますので、以下の表で確認してください。

記号	事前に単位修得が望まれる科目	記号	事前に単位修得が望まれる科目	記号	事前に単位修得が望まれる科目
◆1	経済理論入門（専門教養）	◆2	世界経済入門（専門教養）	◆3	現代日本経済
◆4	経営入門（専門教養）				

※3 （ ）内のテーマが異なれば複数履修可

※4 経済学科以外の学生は、共通教育プログラムの専門教養科目として履修可

※5 観光まちづくり学部の学生は、専門教育科目として履修可

※6 観光まちづくり学部での開講学年は、2年

神道文化学部開講科目

すべての学生が履修可能な科目一覧

授業科目	開講	単位	学年	授業科目	開講	単位	学年
神道史学ⅠA	半期	2	1	宗教社会学Ⅰ	半期	2	2
神道史学ⅠB	半期	2	1	宗教社会学Ⅱ	半期	2	2
古典講読ⅠA	半期	2	1	比較文化学Ⅰ	半期	2	2
古典講読ⅠB	半期	2	1	比較文化学Ⅱ	半期	2	2
宗教学Ⅰ	半期	2	1	神道と国際交流Ⅰ	半期	2	3
宗教学Ⅱ	半期	2	1	神道と国際交流Ⅱ	半期	2	3
祭祀学Ⅰ	半期	2	3	神道と環境Ⅰ※	半期	2	2
祭祀学Ⅱ	半期	2	3	神道と環境Ⅱ	半期	2	2
神道史学ⅡA	半期	2	2	神道と情報化社会Ⅰ	半期	2	3
神道史学ⅡB	半期	2	2	神道と情報化社会Ⅱ	半期	2	3
神道思想史学Ⅰ	半期	2	2	教派神道研究Ⅰ	半期	2	3
神道思想史学Ⅱ	半期	2	2	教派神道研究Ⅱ	半期	2	3
古典講読ⅡA	半期	2	2	キリスト教文化研究Ⅰ	半期	2	2
古典講読ⅡB	半期	2	2	キリスト教文化研究Ⅱ	半期	2	2
国学概論Ⅰ	半期	2	2	仏教文化研究Ⅰ	半期	2	2
国学概論Ⅱ	半期	2	2	仏教文化研究Ⅱ	半期	2	2
世界宗教文化論Ⅰ	半期	2	1	中東文化研究Ⅰ	半期	2	3
世界宗教文化論Ⅱ	半期	2	1	中東文化研究Ⅱ	半期	2	3
日本宗教文化論Ⅰ	半期	2	1	東アジア文化研究Ⅰ	半期	2	3
日本宗教文化論Ⅱ	半期	2	1	東アジア文化研究Ⅱ	半期	2	3
宗教考古学Ⅰ	半期	2	2	宗教芸術研究Ⅰ	半期	2	3
宗教考古学Ⅱ	半期	2	2	宗教芸術研究Ⅱ	半期	2	3

※ 観光まちづくり学部の学生は、専門教育科目として履修可

初等教育学科開講科目

すべての学生が履修可能な科目一覧

授業科目	開講	単位	学年
伝統文化と生活論	半期	2	3
伝統文化授業論	半期	2	3・4
理科授業構成論	半期	2	3・4
ピアノ実技A	半期	1	1
ピアノ実技B	半期	1	2
コンピュータ分析法	半期	2	3・4
算数科授業構成論	集中	2	3・4
こども生活基礎論	半期	2	1
海外教育インターンシップ	集中	2	1～3

授業科目	開講	単位	学年
人権教育論	半期	2	3・4
地域教育社会学	半期	2	2・3
家庭教育論	半期	2	2・3
臨床教育学	半期	2	2・3
人間形成の心理学	半期	2	2・3
ジェンダーと社会教育	半期	2	3・4
企業内教育	半期	2	3・4
社会学A	半期	2	3・4
社会学B	半期	2	3・4

健康体育学科開講科目

すべての学生が履修可能な科目一覧

授業科目	開講	単位	学年
運動生理学	半期	2	1
運動技能未開発者の指導	半期	2	2
アダプテッドスポーツ	半期	2	2・3
メンタルヘルス	半期	2	2・3
体力トレーニング論	半期	2	2・3
コンディショニング	半期	2	2・3
ジュニアスポーツ指導論	半期	2	2・3
スポーツ行政論	半期	2	3・4
体育社会学	半期	2	1・2
スポーツと法	半期	2	2・3

授業科目	開講	単位	学年
女性のスポーツ科学	半期	2	2・3
健康管理論	半期	2	1・2
運動処方論	半期	2	2・3
食育論	半期	2	2・3
武道の国際比較	半期	2	1・2
体育・スポーツ史	半期	2	1
身体論	半期	2	2・3
武道文化論	半期	2	2・3
統計と測定評価	半期	2	2・3

子ども支援学科開講科目

すべての学生が履修可能な科目一覧

授業科目	開講	単位	学年
幼児教育史	半期	2	3・4
教育の統計	半期	2	3・4
子ども文化論	半期	2	2

授業科目	開講	単位	学年
心の科学	半期	2	1
カウンセリング概論	半期	2	2・3
子育て支援システム論	半期	2	3・4